

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

5- -3

5-
-3

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	伝統文化の記録保存と情報発信
	節	. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	3 伝統文化記録保存		事業主体	佐渡市社会教育課
	事業実施期間	H28～H34		関連団体
事業概要	【事業目的】 地域の伝統文化の映像記録保存により、伝統文化の保存継承を図る。			
	【事業内容】 島内各地で行われている祭りや地域の伝統文化・伝承を映像により記録保存を行い、地域文化のデータベースを構築する。			
⑳ 事業計画と実績	【29年度計画】 平成30年度中に島内各地で行われている祭りや地域の伝統芸能伝承を紹介するホームページ「さど芸能Archives」(以下「HP」という。)の完成を目指し、情報発信に活用する伝統芸能の動画撮影及びHPデザイン作成を順次進める。			
	【29年度実績】 平成30年度中のHP完成を目指し、情報発信に活用する伝統芸能の動画撮影を祭り等22ヶ所で撮影を行い、今年度計画の撮影を完了した。また、HPデザイン作成も完了した。			
課題・今後の取組	【課題】 HP完成後は、H30.7設立予定の(一財)佐渡文化財団に引き継ぐがデータベース蓄積に継続して取り組んでもらう必要がある。			
	【今後の取組】 H30年度中のHP完成を目指し、作業を進めるが、(一財)佐渡文化財団設立後もデータベース化を進めるように働きかける。			
事業評価	【事業の達成度】 (a ● b ● c)			
	【事業実施の効果】 (a ● b ● c)			
	【総合評価】 (A ● B ● C)			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。